

オルケストラ シンフォニカ 東京

第 40 回

定期演奏会

平成11年 4月19日(月) 午後 7:00 開演

カザルスホール



プログラム

第一部

指揮：山本雅三

軽音楽の鎖

続木繁之編曲

ルロイ・アンダーソン集

シンコペーテッド・クロック

ワルティング・キャット

プリンク・プレック・プランク

星座（コンシュテラツェオーネン）

M. ヴェングラー

第二部

指揮：石黒不二夫

武井守成作品集

雨とコスモス

豊年

夏の組曲

宵雨の町／風鈴屋／海に歌う／花火見る子ら

第三部

指揮：石黒不二夫

魔女の谷（呪われた谷）

劇的序曲

F. メニケッティ

熱情

独創的奇想曲

M. ブランツォーリ

曲 目 解 説

第一部

軽音楽の鎖

続木 繁之 編曲

短い序奏に続き、きらきらと輝くようなリズム感あふれる軽音楽の名曲達が鎖のように連なる楽しいメドレーです。登場する曲は

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. ビギン ザ ビギン | 2. タンゴ「碧空」 |
| 3. ファシネイション (魅惑のワルツ) | 4. フィエスタ |
| 5. パールフィシャー (真珠とりのタンゴ) | 6. コーレングラート(カタリ カタリ) |
| 7. タンゴ ボレロ | 8. スペインの姫君 |

以上の8曲です。日本マンドリン連盟本部より1994年6月に発行された楽譜を使用しています。スコアの最後に「神戸商科大MC1989年 記念定演用 続木繁之」のメモが添えられています。編曲の続木氏はマンドリン三重奏団「トリオ ノーボ」のギター奏者として知られ、池袋音楽院 院長を務めるほか、ギターやマンドリンクラブの指導や室内楽など広範囲に活動しています。

ルロイ・アンダーソン集

アンダーソンをさして「アメリカのヨハン・シュトラウス」という比喻は、彼の音楽の性格を良く表現しています。ウィットとユーモアに富んだその作品群は、たとえ題名は知らなくとも必ずどこかで耳にして親しんでいることでしょう。1908年にマサチューセッツ州に生まれ1930年代後半から50年代にかけて、指揮者アーサー・フィドラーの片腕としてボストン・ポップスオーケストラを舞台に楽しい曲を次々に発表し、作曲・編曲・指揮と大活躍しました。スタンダードナンバーとして今でも愛し続けられている彼の作品の多くが、軽音楽のようでありながら、しっかりとした2管編成の管弦楽曲として書かれているところに、その音楽性の確かさが感じられます。(1975年没)

1. シンコペーテッド・クロック

チックタックと正確に時を刻んでいるはずの時計から、おかしなリズムが顔をのぞかせます。時計の音を模したウッドブロックが印象的で、目覚ましのベルも明るく響きます。最後のパーカッションのコンビネーションもお聞きのがしなく。

2. ワルティング・キャット

軽快なワルツにのせて、猫がかわいらしく踊っている様子が生き生きと描かれます。チャーミングなメロディーは、いかにも猫がニャーオと鳴いているようです。最後は犬に吠えられてあわてて逃げ出してしまう。

3. プリンク・プレंक・プランク

「plunk/プランク」は弦などを弾いて鳴らすの意味で、「plank/プレंक」は板。それに語呂合わせで意味の無い「plink/プリंक」が組み合わせさせた題名です。現代版のピッチカートポルカといった趣で、スピード感いっぱい、おかしな音のアクセントと共に快速に進行していきます。

星座 / Konstellationen

1979年のシュワインフルト市(ドイツ)における世界的規模で公募されたマンドリンオーケストラのための作曲コンクール優勝作品となった現代曲です。従来のマンドリンオリジナル曲の概念を超え、新しい可能性を積極的に目指し、新鮮な響きをたたえています。作曲者のマルツェル・ヴェングラーは1946年生まれで、ブリュッセルのコンセルバトアール王立音楽院に学び、作曲科の和声・対位法・フーガの三つでトップの成績をとったほか、マルチンルゼンス賞、レオンドラクロア賞、ゲルベルト賞など数多くの賞を獲得しました。作曲以外にも1974年以来ザールランドマンドリンオーケストラの指揮者を務め、1978年にはリオデジャネイロの指揮者コンクールで一位を獲得しています。マンドリン音楽の芸術性の向上に努力貢献したハインリッヒ・コニエンツニー(1910年生まれ)と共に作曲法とオーケストレーションを研究し、また彼の作品の初演をいくつも任された経緯から、ヴェングラーは敬意を表してこの作品「星座」をコニエンツニーに捧げています。(スコアのノートより)

第二部 武井守成 作品集

武井守成(1890-1949)は当楽団の前身であるオーケストラ・シンフォニカ・タケイ(旧 OST)の創設者・主宰者で官内省の要職に就くかたわら楽団の育成・指揮と作曲に携わり、斯楽の発展に大きく貢献されました。今年が没後50年にあたりますので、記念に作品の中から次の3曲を選んで演奏いたします。

雨とコスモス 作品第49番

昭和16年(1941年)の作。ギターのアルペジオ三重奏で始まる叙情的な静かな曲で、ピアノをまじえ、モダンな趣を醸し出している曲です。

作者の言葉 ……庭先きの垣の際に、丈高い1本のコスモスが、どうしたことが咲き残っている。しめやかに——とはいえ音を立て、降る雨に、花びら一つ動かそうともせず、空を仰いで清らかに立っている。それは不思議に古典的な美しい姿であった。……

豊年 作品第27番

昭和5年(1930年)の作。秋の豊かな収穫を祝い、歌い踊る農村の風物を描き、和風の旋律とリズムが巧みに表現され、陽気で喜びに充ちた、生き生きとした情景が感じられます。

始めに、ジャワの竹製の楽器(アングルング)の音が2小節あって、随所にカラカラという鳥追う音、シャンシャンという米俵を積んだ馬の鈴の音など色々な楽器の織り出す中に豊年の喜びを思わせます。

夏の組曲 作品第31番

昭和3年(1928年)の作。第1章 Lento— 第2章 Adagio— 第3章 Largo のゆったりした流れから、第4章の軽快な Allegretto へ移り、打楽器の効果と相俟って、夏の情景を見事に描いており、近代的な曲想と和音を駆使した曲です。

作者の言葉 ……第1章・初夏の下町の気分表現で描写ではない。第2章・風鈴屋の感情描写で風鈴の擬音はワキ役である。第3章・風なく晴れ渡った海辺の朝、静かな海に向って歌う感じ。第4章・花火の夜を待つ子供達の楽しさと焦だたしさ、打ち上げられた花火の五彩のひらめき、子供達の嘆美の歌などの、つづられたもの。

第三部

魔女の谷

劇的序曲

ランソワ メニケッティ

作者(1892-1969)はフランスの高名な作曲家。1967年にメニケッティと交信のあったOSTの当時の指揮者の故 杉田村雄氏 にこの曲が書簡とともに送られてきたので早速第9回定期演奏会(1968年)で演奏いたしました。それ以来今回が2度目の演奏となります。(低音パートはメニケッティの自筆の譜面がOSTにあり今回も使用)

曲名の日本語訳は理由は不明ですがその内容からか、「魔女の谷」が多く使用されています。フランス語の意味は「呪われた谷」以外はありません。この曲はル・メデイアトール(Le Mediator)の名称で定期刊行していた作品集の第3集中に掲載されています。

曲とともに記載されている解説文によりますと、序奏部分は重苦しくなく重厚にしかも甘く、次のアレグロは指示どおりのテンポでメリハリをつけて、伴奏は軽く・しなやかに・規則的に、と全体に亘って細かく作者の曲に対する技法・曲想がのべられています。

変化に富んだ曲で、迫力のある内容です。筆者の推理ですが、ある平和な谷間の村に人の死に関係するような不幸な事件が突然起き、自然の中で人々が対処しているモチーフではないかと思えます。

熱情

独創的奇想曲

ジュゼッペ ブランツオーリ

作者(1845-1909)はイタリアの作曲家であるとともに、バイオリニスト・マンダリニスト・ギタリストでもあり、イタリアの音楽学校でバイオリンや和声学の教授や劇場オーケストラの指揮者としても活躍し高名でありました。1875年にはマンダリン教則本を出版しています。

この曲は先に作った「望まれし日」と同じくピアノ付の曲です。日本語訳は「熱情」となっていますが、イタリア語の意味は「熱き想い」或いは「慕情」のような強く慕っている情愛を込めたものです。ユーラリア・ストウラー伯爵令嬢に捧げられています。

曲はアンダンテ マエストーソのゆっくりしたテンポから次第にテンポを速め、最後はプレストからアジタートで終わっていますが、思慕、対話、愉悦、哀愁が叙情的かつ強く表現されています。

山本ミュージックコーナー

〒164-0003 中野区東中野1-43-7 JR東中野駅東口南下車3分 TEL(3363)9893

取扱品目

- ★手工マンダリン・ギター各種
- ★各社マンダリン・ギター
- ★マンダリン・ギター用弦及附属品

お気軽にお立ち寄り下さい。

山本マンダリン・ギター教室

指揮者：*石黒不二夫 *山本雅三

コンサートマスター：*本間輝樹

第一マンドリン：*本間輝樹 田島明子 中込尚子 •宮崎敏行
秋元興光 新居裕久 諸井美津江 城戸かほる
村上二郎

第二マンドリン：後藤俊明 藤田正美 坂井美佐子 嶋直樹
*岡田茂 山崎悦子 高梨弘

マンドラ テノール：*岩片順子 渡辺清 佐々木興治 田中秀近
田中倭文子 玉木利恵子 滝田ふさ子 佐藤一徳

ギター：宮本紀子 平田陽一 *山本雅三 戸次脩
高橋貴久子 高橋悠介 城所俊雄 河村欣司
*今津章 西原正 沢田行雄

マンド・チェロ：宮崎泰行 深沢誠一 梅山恵美子

リュート・モデルノ：*宮本皓永

マンドローネ：*家城孝治 宮澤栄作

コントラバス：佐藤正 久保田聡

フルート：•比護いづみ

クラリネット：•佐藤路世

ピアノ：•浦島晶子

打楽器：•加藤直美 •福寿祥子 •堀尾愛

{ * _____ 幹事 }
• _____ 賛助出演 }

オーケストラ シンフォニカ 東京 (OST)

連絡先：〒239-0844 横須賀市岩戸4-14-16 石黒不二夫

TEL 0468-49-0848